



NPO PTPL “ともいき” 便り No.74

平成 27 年（2015 年）4 月 20 日発行

■穀雨（こくう） 4 月 20 日から 5 月 5 日までの節気

「穀雨」の節気に入りました。「穀雨」は、「穀物」の「穀」と「雨」と書きます。読んで字の如し、「稲や麦などの穀物の生長を助ける雨が降る季節」です。後半には連休がずらりと並ぶ節気なので、そんなに雨が多いという印象はありませんが、この頃の雨は、穀物だけではなく、木々や野山の草木の芽を育てる大切な雨、という意味があるのだと思います。

先日、「春の草花遊びの案」を、という依頼が出版社からありました。そこで、犬の散歩をしながら、遊歩道に咲いている「タンポポ」「スギナ」「ナズナ」などで、どんな遊びができるかを考えました。実際に草花をいじりながら考えると、頭ではなく手が動いて、面白いものができたりします。草花遊びのアイデアはここには書けませんが、基本は、道具を使わずに草や花と戯れることだと思います。ただ、タンポポをたくさんつんで花束のようにするだけでも可愛いし、1本、ボタンホールにさすだけでもすてきだし。ハルジオンは、私が小さいころは、「貧乏草」と呼ばれていました。そして、「花びらが耳にはいると大変。耳が聞こえなくなるから、遊んではだめ」と大人たちから言われました。ですから、今もハルジオンには近づきません。でも、若い編集者の方にその話をしたら、「聞いたことがない」そうです。あの大人たちの警告はなんだったのでしょうか。不思議。

5月2日は、八十八夜。この日以降、あまり霜が降りることがなくなるので、「八十八夜の別れ霜」ともいわれています。稲の種まきが始まって、本格的な農作業に入ります。そしてこの時季、茶摘みが盛んに行われます。八十八夜に摘んだお茶の葉は極上と言われ、この日にお茶を飲むと、長生きするとも言われているそうです。

後半は、記念日がずらりと並んでいます。普段、記念日の趣旨を確認することも無いと思いますので、ここで、趣旨を書いておきたいと思います。改めて読むと、けっこう良いことが書いてあるなと感じます。4月29日は「昭和の日」。「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」日。5月3日は、「憲法記念日」で、「日本国憲法の施行を記念し、国民の成長を期する」日。5月4日は「みどりの日」。「みどりの日」は4月29日でしたが、2007年に5月4日に引越しとなりました。趣旨は「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ」日。5月5日は「こどもの日」。「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日。5日は「端午の節供」でもあります。

※ 八十八夜、記念日の詳細は <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>

忙しい毎日、連休でほっ。新茶でほっ。という具合にはなかなかいかないと
思いますが、気持ちのよい季節。どうぞ、おすこやかに過ごしてください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼は

ジャパネスク セレクション【本】

●NPO PTPLの「ともいき社会づくり」と「江戸しぐさ」

「江戸しぐさ」(著者:越川禮子・発行:KKロングセラーズ)を読みました。
この本を本屋さんで見つけた時、咄嗟に、近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」という三方よしの心得が頭をよぎりました。

著者はこの本で、「今日の日本は高度情報化社会が進む一方で人と人の触れ合う機会が少なくなり、コミュニケーション不足によるさまざまな事件が増えています。こうした背景には社会の秩序を乱す、自分さえよければいいといった、ひとりよがりの考えをしている人が多くなっていることが挙げられます。そのさまざまな社会的課題を解決する活動のひとつとして、また安心な社会づくり、豊かな人づくりを目指して「江戸しぐさ」の普及、振興に努めています。そして、「江戸しぐさ」という人付き合いは共に生きる「ともいき」の知恵であり、「江戸しぐさ」は見ず知らずの赤の他人や異文化とうまくやっていくためのノ

ウハウで、「ともいき社会づくり」のモデルでもあります。

「江戸しぐさ」は、江戸商人のリーダーたちが築き上げた、上に立つ者の行動哲学で、人間関係を円滑にし、安心な社会づくりのカギになっていたといえます。」と言っています。

「和の精神」、「ともいき」の精神にもつながり、とても楽しく、おもしろく読ませていただきました。

また、著者は最後に「江戸しぐさ」を実践できる人などと大げさに言わなくても、人間として当たり前の小さな親切が自然にできるか、どうかが大切なのだと思います。お年寄りを労わる気持ち、お互いに譲り合う姿勢、優しい挨拶や丁寧な言葉づかい、そうしたことを何気なくできる人が、これ以上消えないでほしいと心から願っていますと付け加えています。

● ジャパネスクのホームページ「ジャパネスク語り」のNo4/No5/No16/No20/No33/No50を参考にお読みください。

<http://japanesque.tokyo/katari.html>



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

● お知らせ：ともいき暦の番組がスタートしました。

ジャパンエフエムネットワークという北海道から沖縄まで結ぶFMラジオの全国ネットワークの番組です。『サードプレイス』という早朝の番組枠で4月15日(水)から『すとうあさえのともいき歴』(全国32局ネット)がスタートしました。毎月第3週、4週 水曜日午前5:30から30分(一部地域25分)の放送です。進行役はNPO PTPL理事のすとうあさえさんです。朝早い番組ですが、是非、お聴き下さい。

ジャパンエフエムネットワークのサイトです。 <http://www.jfn.jp/>

●春の土用の丑の日にも鰻？

4月17日(金)～5月5日(火)は「春の土用」の期間です。

土用は年間に4回(春夏秋冬)あり、各土用ごとに丑の日がありますが、猛暑の7月下旬から8月上旬にかけての夏の土用は最も印象が強く、ふつう「土用」というと誰でも夏の土用を思い出します。そのため、土用は夏だけと知っている人も少なくないわけで、夏の土用の期間の丑の日に鰻の蒲焼きを食べる習慣は、国民的行事となっています。

今年の「春の土用の丑の日」は4月19日(日)にあたり、コンビニの大手セブンイレブンでは、全国の店舗で鰻の蒲焼重が販売されるようです。

このままで行くと、日本人は最低年4回は鰻を食べる習慣ができていくのでしょうか？ 希少な鰻の生態に影響がなければよいのですが・・・。

- 「ジャパネスク」の共感企業募集をスタートしました。「ジャパネスク」の考え方、在り方に興味、関心がおありのお知り合いまたはお勤めの企業がございましたらご一報ください。ご説明に伺います。そのためにも、是非とも、「ジャパネスク」のサイトをご覧ください、広く喧伝していただければ幸甚です。「ジャパネスク」のサイトアドレスは <http://japanesque.tokyo/> です。内容は順次広く深くしていく予定です。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp